

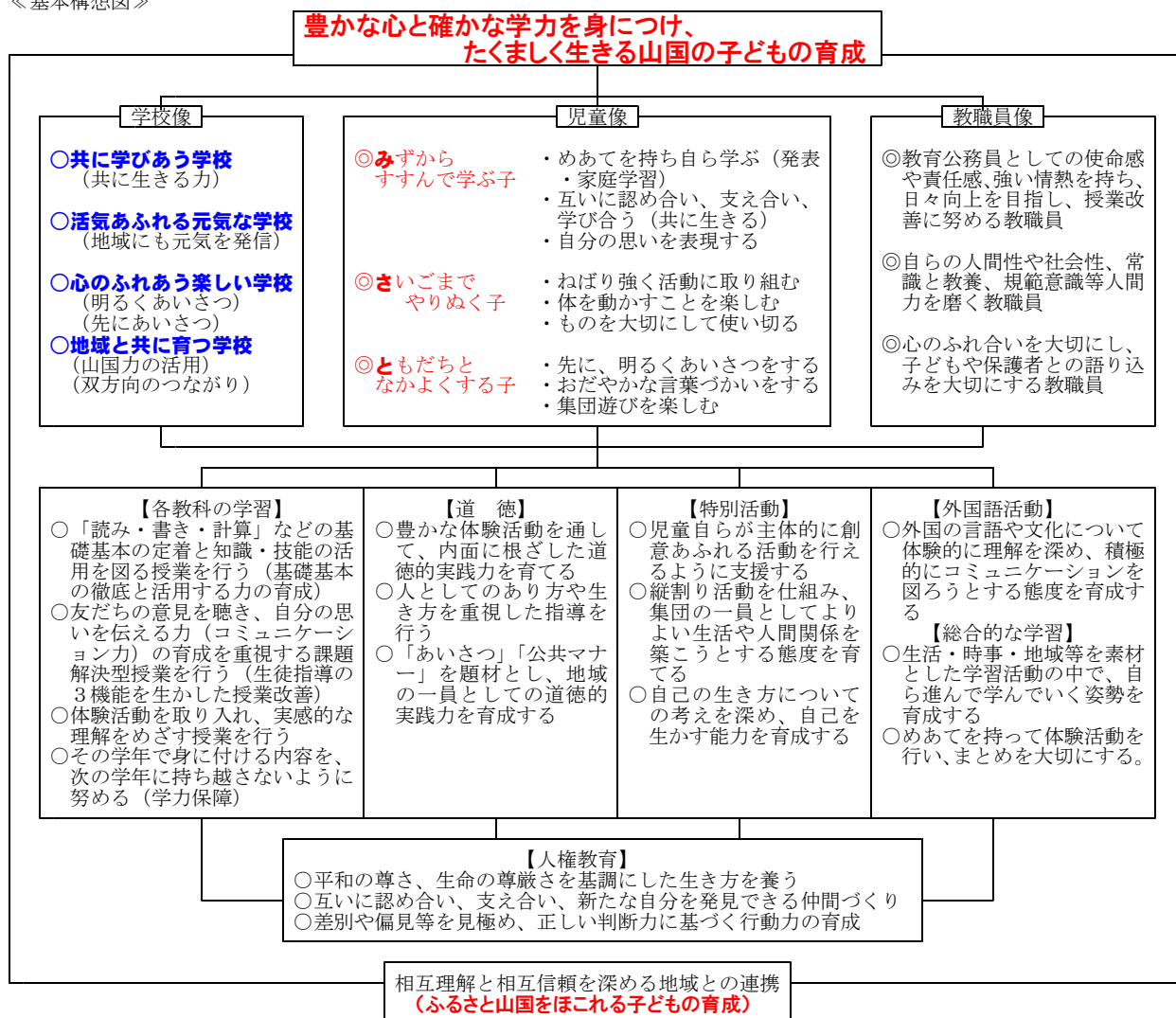
平成27年度 学校経営案

1 基本方針

日本国憲法・教育基本法・学校教育法をふまえ、大分県教育委員会・中津市教育委員会の指導方針に基づき、児童の特性や実態に立って、学校教育の今日的課題、保護者・地域社会の要望にも応えながら、ふるさとを愛する心豊かな子どもたちを育てると共に基礎・基本の確実な定着を図り、社会の変化に主体的に対応できる能力・態度の育成に努める。

2 学校教育目標

《基本構想図》



3 経営の重点及び努力点(チーム三郷)

(1) 「たくましく生きる力」「共に生きる力」の育成

- 「自分の考え」「表現する」「学び合う」(課題解決型授業)「学びの振り返り」(評価)「学び直し」(補充)「学び加え」(発展)のサイクルを意識し、その学年で学ぶべき学習内容を確実に定着させる取り組みを行う。(授業の流れがわかる板書・データの活用)
- 地域の人材や施設等、地域の教育力を生かし、体験的な活動や課題解決学習を行い、めあてを持って追究していく学習意欲や実践的な学習力を育てる。(森林体験学習・ふるさと体験等)
- 表現する活動を重視し、コミュニケーション能力の育成を図り、自らの思いを伝えることができるようにする。(場を踏ませる)
- 保育所、保育園、中学校、地域との連携を図り、子どもの将来を考えた教育活動を推進する。特に、ふるさと「山国」の自然や人に接することを大切にして、心の内からわき起こる感情の育成を重視する。
- 「共に生きる力」育成のため、お互いを認め合い支え合う集団づくり、三郷小スタイルの学び合いのある授業づくりを進める。
- 遊び集会等を活用し、集団遊びの楽しさを伝え、異年齢集団のかかわりを増やすなかで、「あこがれ」の存在を感じさせる。
- 音楽集会を核として、集団で歌うことの心地よさを感じさせ、豊かな情操を養う。
- 特別な教育的支援を必要とする子どもの現状やニーズをよく把握し、指導や支援についての検討、研修等を行う。

(2) 「開かれた特色ある学校」づくり

- 教育目標、具体的教育計画、実施状況等について、自己評価や学校関係者評価を行い、保護者や地域住民に説明責任を果たす。
- 地域の自然・文化・伝統等を取り入れた教材開発を行い、地域人材の積極的な活用によって、森林体験学習等の地域の特性を生かした教育課程の編成・実施に努める。(なかつスクスクプロジェクトの活用)
- 「かかしワールド」等、地域行事へ協力をしたり、地域での教育活動を実施することで、地域へ元気を発信する。
- 授業の公開(校内・校外)を進め、学級担任だけでなく全教職員、家庭・地域の力を結集して、一人ひとりのよさを伸ばす。互見授業や一人一授業提案を行い、授業の改善(生徒指導の3機能を生かした)に努める。また、先進地視察を行ったり外部講師を招聘したりして、学び合いのある授業について実践を深める。
- 学校ホームページを定期的に更新したり、学校だよりを月に1回発行するなど、学校の情報を積極的に公開する。
- PTAや学校図書館司書と連携して、読書の習慣の意識化を図る(親子読書・読み聞かせ等)と共に、家庭学習の定着に向けた取り組みを行う(家庭学習の手引きの活用)。

(3) 「明るく活気あふれる職員集団」づくり

- 3S(スピード・スマイル・サポート)を合言葉に、日々の教育活動を行う。
- 教育のプロとしての誇りを持ち、新たなものにチャレンジし、常に学ぼうとする姿勢を保つ。
- 日々の教育実践を大切にして、互いに学び合い授業力の向上をめざす。
- お互いの思いを出し合い、厳しさと和やかさの調和をとりながら教育活動を行う。
- 風通しの良い職場づくりに心がけ、服務規律を厳守するセンサーを全教職員が磨く。